

科目名	文献学方法論
	授業の到達目標及びテーマ 到達目標:この講義は、人文科学を研究していく上での基礎的な事から、特に文献学的な研究方法を身につけることを目的とします。 テーマ:何をどう使って研究を進めるか。
	授業の概要 ハード面とソフト面にわけると、まずハード面では研究を進める上での根本となる道具類についてふれる。すなわち、基本的な辞(事)典・史(資)料目録・文献目録・索引・史料集・年表などを紹介する。つぎにソフト面として、史(資)料とは何か、史(資)料を蒐集(しゅうしゅう)するときの留意事項、写本の扱い方、本文校訂の必要性とその方法、先行研究の整理・検討など、実際に史(資)料を蒐集し研究を進めていく上での基本を論じてみたい。
	授業計画 1. はじめに 一読むとはどういうことか 2. 史(資)料とは何か 3. 史(資)料を蒐集するときの留意事項 4. 人文学研究の道具(1) 5. 人文学研究の道具(2) 6. 人文学研究の道具(3) 7. 人文学研究の道具(4) 8. 人文学研究の道具(5) 9. 人文学研究の道具(6) 10. 先行研究の整理・検討 11. 本文校訂の必要性とその方法 12. 写本の扱い方 13. 講義を作成する(1) 14. 証書を作成する(2)
	テキスト 毎時間、プリントを配布する。
学期	前期
単位数	2
担当者	武内孝善
学生に対する評価	授業への積極的な参加度(60%)と数回のレポート(40%)とを総合して評価する。
その他	①講義は教師と学生の共同作業です。積極的に講義に参加してほしい。 ②疑問はその時間内で解決しよう。大いに質問してください。

科目名	書道史ⅡA〔日本〕
	授業の到達目標及びテーマ 到達目標:書道作品の鑑賞眼を養い、その基本的事項について理解するとともに、書の世界を味わう。 テーマ:わが国の書の流れ特質を認識するために、古代からの主な作品をできるだけたくさん鑑賞する。
	授業の概要 わが国における書の展開について講じる。本講座では特に古代から室町・南北朝時代までをその対象とし、時代ごとにつかのテーマを取り上げながら進めてゆく。また書は、その他の芸術をはじめ諸々の文化と密接に関わるものであるため、可能な限りそうした周辺の文化的事柄とも絡めて眺めてゆくこととしたい。
	授業計画 1. オリエンテーション 2. 弥生・古墳時代の文字 漢字の伝来 仏教の伝来 3. 飛鳥時代の書 「法華義疏」と木簡 奈良時代直前の金石 經典書写 4. 奈良時代の書 王羲之の崇拜 天平写経 5. 平安時代の書 (平安前期) 三筆と最澄及びその他の能書家 万葉仮名と仮名の分化 書聖空海 6. 平安中期 三蹟と和様 女手の発達 7. 平安後期 高野切古今集への昇華 古筆表現の多様性 8. 本願寺本三十六人家集 世尊寺流と法性寺流 9. 書流・書論の出現 『夜鶴庭訓抄』・『才業抄』 10. 鎌倉時代の書 法性寺流と後京極流 実用に適した定家様 11. 墨跡の登場 格調高い宸翰様 12. 南北朝・室町時代の書 藤門親王と青蓮院流 世尊寺家 『入木抄』 13. 室町絵巻 五山の学芸 14. 復習・まとめ
	テキスト ・『決定版』日本書道史 名児耶明監修 芸術新聞社 定価3300円(生協にて購入) ・その他必要に応じて、プリントを配布
学期	前期
単位数	2/4
担当者	野田悟
学生に対する評価	基本的に前期末の試験により100%の評価をする。 ・授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする。 ・遅刻・早退は欠席の3分の1としての評価をする。
その他	受講は、書道史ⅡA〔日本〕(前期)の履修者に限る。

科目名	書道史ⅡB〔日本〕
	授業の到達目標及びテーマ 到達目標:書道作品の鑑賞眼を養い、その基本的事項について理解するとともに書の世界を味わい、想像力を育てる。 テーマ:わが国の書の流れ特質を認識するために、現代までの主な作品をできるだけたくさん鑑賞する。
	授業の概要 本講座では特に安土桃山時代から現代までをその対象とし、時代ごとにつかのテーマを取り上げながら進めてゆく。また書は、その他の芸術をはじめ諸々の文化と密接に関わるものであるため、可能な限りそうした周辺の文化的事柄とも絡めて眺めてゆくこととしたい。名品の鑑賞もあわせておこなう。
	授業計画 1. 前期の復習 2. 安土桃山時代の書 古筆の愛玩風潮 武将の書 3. 江戸時代の書(江戸前期) 「寛永の三筆」と鳥丸光広 4. 江戸中・後期 唐様書と和様書 北島雪山と細井広沢 5. 王羲之の尊重 「幕末の三筆」と金石学の成立 6. 明治時代の書 和様から唐様へ 六朝書道の勃興 7. 楊守敬・徐三庚の影響 帖学派と碑学派 8. 上代様仮名 元勳の書 建碑の流行 書道団体の成立と書壇の形成 9. 大正時代の書 書道刊行物の発行 難波津会の啓蒙運動 10. 戦前昭和の書 書道団体の離合集散 11. 現代書への胎動 12. 戦後昭和以降の書 学校の書道教育 古筆の復権と大字かなの登場 13~14. 前衛書の伝統 篆刻と刻字の展開 漢字かな交じり書のゆくえ 平成書道教育の問題 15. まとめ・復習 ※正倉院展の現地研修を、10月下旬~11月10日過ぎまでに実施の予定。
	テキスト ・『決定版』日本書道史 名児耶明監修 芸術新聞社 定価3300円 ・その他必要に応じて、プリントを配布
学期	後期
単位数	2/4
担当者	野田悟
学生に対する評価	基本的に前期末の試験により100%の評価をする。 ・授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする。 ・遅刻・早退は欠席の3分の1としての評価をする。
その他	受講は、書道史ⅡA〔日本〕(前期)の履修者に限る。

科目名 <b>真言密教方法論講義Ⅰ</b>	<b>授業の到達目標及びテーマ</b> 到達目標：空海の書いた漢字の文章を分析することによって、空海その人を知る。 テーマ：「為大使与福州觀察使書」を読む。
	<b>授業の概要</b> この講義での真言密教とは、空海を学ぶことである。学問としての「密教を学ぶ方法論」は、先生各自が異にするところである。ここでは空海の文章を読むための私（静）の方法論を講義する。
	<b>授業計画</b> 1. シラバスの説明。講義の進め方について説明する。 2. 空海の生涯を考える。 3. 空海が残した著作の内、「密教思想」・「書簡類」の著作を考える。 4. 「性霊集」を考える。 5. 「為大使与福州觀察使書」を読む。 ① これまでに出版されている原文・書き下し文・訳を基本にする。 ② 原文の読み方として、特に「対句」を意識して、全文を並び変えた表を作成する。 (表作成を指導する。) — レポートとして提出 — ③ 以下順次読み進める。(演習形式)   ④ 読み進める。(演習形式) ⑤ 読み進める。(演習形式)           ⑥ 読み進める。(演習形式) ⑦ 読み進める。(演習形式)           ⑧ 読み進める。(演習形式) ⑨ 読み進める。(演習形式)           ⑩ 読み進める。(演習形式)
	<b>テキスト</b> コピーを配布する。
	<b>参考書・参考資料等</b> 授業で指示する。
<b>学期</b> 前期	<b>学期</b> 後期
<b>単位数</b> 2	<b>単位数</b> 2
<b>担当者</b> 静 慈 圓	<b>担当者</b> 乾 仁 志
<b>学生に対する評価</b> 授業中に実施する小テスト、レポート、授業中の発表、試験で70パーセント。 出席30パーセント。	<b>学生に対する評価</b> 試験70%、平常点30%
<b>その他</b> 出席を特に重んずる。	<b>その他</b>

科目名 <b>真言密教方法論講義Ⅱ</b>	<b>授業の到達目標及びテーマ</b> 到達目標：マンダラという図像的側面から密教に対する理解を深める。 テーマ：日本に伝わる両部曼荼羅とその種類	
	<b>授業の概要</b> マンダラといっても、さまざまなものがあるが、中でももっとも重要なのが弘法大師等によって将来された両部マンダラである。しかし日本に伝来し、また転写されていった両部マンダラも、作品間に細かい違いも見られるなど、結構バラエティに富む。本講では、そのようなさまざまな両部マンダラの由来を確認し、図像上の構成や尊容の違い等を通して多様な両部マンダラについて学習する。	
	<b>授業計画</b> 1. シラバスの説明、講義の進め方等 2. 入唐八家とその将来品としてのマンダラ 3. 両部マンダラとその系統 4. 東寺正伝の両部マンダラとその系統1 5. 同2 6. 同3 7. 同4 8. 非正伝の両部マンダラ1 9. 同2 10. 同3 11. 同4 12. 同5 13. その他、さまざまな両部マンダラ1 14. 同2 15. 講義の総括	
	<b>テキスト</b> 担当者が配布プリントを用意する。	<b>テキスト</b> 担当者が配布プリントを用意する。
	<b>参考書・参考資料等</b> 越智淳仁『図説・マンダラの基礎知識』大法輪閣 2008年 森 雅秀『マンダラ事典』春秋社 2007年 その他、授業の中で指示する。	<b>参考書・参考資料等</b> 越智淳仁『図説・マンダラの基礎知識』大法輪閣 2008年 森 雅秀『マンダラ事典』春秋社 2007年 その他、授業の中で指示する。
<b>学期</b> 前期	<b>学期</b> 後期	
<b>単位数</b> 2	<b>単位数</b> 2	
<b>担当者</b> 乾 仁 志	<b>担当者</b> 乾 仁 志	
<b>学生に対する評価</b> 試験70%、平常点30%	<b>学生に対する評価</b> 試験70%、平常点30%	
<b>その他</b>	<b>その他</b>	

科目名 <b>密教文化方法論講義Ⅱ</b>	<b>授業の到達目標及びテーマ</b> 到達目標： ①密教文化の研究の対象と方法論の多様性について理解を深める。 ②特定のテーマについて自ら調べ、考え、それを適切な言葉で表現できる。 テーマ：密教文化をどのように研究するか。	
	<b>授業の概要</b> 一口に密教の文化といっても、その意味するものは多様である。それに応じて、その研究にもさまざまな方法論やアプローチの仕方がある。本授業では、そうしたさまざまな方法を実際の研究に即して紹介し、密教文化をどのように学び、研究したらよいかを一緒に考えてゆく。	
	<b>授業計画</b> 1. イントロダクション 2. 「南方マンダラ」論1 3. 「南方マンダラ」論2 4. 密教美術1 5. 密教美術2 6. 密教と哲学、宗教学、人類学、民俗学 7. 密教と生命倫理 8. 密教と文学 9. 神秘体験、超心理学、瞑想 10. 聖地と巡礼 11. 密教系新宗教 12. 密教をどう伝えるか1 13. 密教をどう伝えるか2 14. 小説の中の弘法大師 15. まとめ	
	<b>テキスト</b> 松長有慶編『密教を知るためのブックガイド』法蔵館	<b>テキスト</b> 松長有慶編『密教を知るためのブックガイド』法蔵館
	<b>参考書・参考資料等</b> 教室でそのつど指示する	<b>参考書・参考資料等</b> 教室でそのつど指示する
<b>学期</b> 前期	<b>学期</b> 後期	
<b>単位数</b> 2	<b>単位数</b> 2	
<b>担当者</b> 奥 山 直 司	<b>担当者</b> 奥 山 直 司	
<b>学生に対する評価</b> 出席点30%（遅刻3回で1欠席と見なす）、授業参加状況30%、期末レポート40%	<b>学生に対する評価</b> 出席点30%（遅刻3回で1欠席と見なす）、授業参加状況30%、期末レポート40%	
<b>その他</b>	<b>その他</b>	

科目名	篆刻A
授業の到達目標及びテーマ	到達目標： 1. 古代文字（小篆および摹印篆）の基本的認識。 2. 書学・金石学における爾印・篆刻の役割の重要性及び関連性の理解。 3. 各時代に沿った印章の違ひの理解をもつての刻印技術の修得。 テーマ：漢印による篆刻の理論と実践。
授業の概要	篆刻の一番基礎と言われる漢代前後の印章の模刻を中心に実践、理論の双方より学び、最終的に書学との関連及びその特徴をつかみ、それをもとに創作する。 ・国内の他大学にはない中国伝統の方法を前提とした指導を行う。
授業計画	1. オリエンテーション 2. 古代印章の起源と歴代重印の変遷 3. 印材・工具の紹介と刀法 4. 側款の練習 5～6. 毛筆での篆書と双稿填墨・印稿の練習 7～8. 漢印 9～10. 秦印 11. 漢印または秦印による創作 12. 將軍印 13. 玉印 14. 肖形印 15. これまでの模刻をもとに創作・作品提出 * 進捗により順番を入れ替えたり、省略する場合あり。
学期	前期
後期	
単位数	2
担当	野田 悟
テキスト	・書道講座第6巻『篆刻』（二玄社刊） ・その他必要に応じてプリントを配布
参考書・参考資料等	・『説文解字』（中華書局） ・『印学史』（西泠印社） ・『故宮博物院藏古璽印選』（文物出版社） ・『上海博物館藏印選』（上海書画出版社） ・袁毛政雄編『必携篆書印譜字典』（柏美術出版） ・『書の基本資料14・篆刻』（中教出版）
学生に対する評価	・基本的に提出作品による100%の評価。 ・授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする。 ・遅刻・早退は3分の1の欠席として計算する。
その他	・用具、用材は、大阪の書道用品店にて各自で購入のこと。（最初の授業で説明する。） ・実技の授業なので、毎回の宿題が課される。（当然これも提出物の評価の対象とみなす。） ・一度欠席したら、学生自身かなりの損失を被るのでその辺を心得て望むこと。 ・昨年受講した者は、秦代以前の古璽を個別に指導する。

科目名	篆刻B
授業の到達目標及びテーマ	到達目標： 1. 古代文字及び流派印の基本的認識。 2. 書学・金石学における篆刻の役割の重要性及び関連性の理解。 3. それぞれの流派印の理解をもつての刻印技術の修得。 テーマ：流派印の理論と実践。
授業の概要	明代により急激に発展した篆刻芸術は、その後徽派・浙派に分別され、後の吳昌碩により双方の特徴を備えた篆刻も出現する。これらの篆刻史を基本線上に最終的にそれらをもとにした創作を行う。
授業計画	1. オリエンテーション 2. 側款の練習 3～4. 流派印の出現とその変遷（理論） 5～7. 鄧石如、吳讓之 8. 鄧石如、吳讓之の篆刻をもとに創作 9～11. 浙派 12. 吳昌碩 13. 黃士陵 14. 齊白石 15. 自用印の創作・作品提出 *（進捗により順番を入れ替えたり、省略する場合あり。）
学期	後期
前期	
単位数	2
担当	野田 悟
テキスト	・書道講座第6巻『篆刻』（二玄社刊） ・その他必要に応じてプリントを配布
参考書・参考資料等	・『説文解字』（中華書局） ・『印学史』（西泠印社） ・袁毛政雄編『必携篆書印譜字典』（柏美術出版） ・『書の基本資料14・篆刻』（中教出版） ・小原俊樹、勝目浩司編『図解・篆刻入門』（木耳社）
学生に対する評価	・基本的に提出作品による100%の評価。 ・授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする。 ・遅刻・早退は3分の1の欠席として計算する。
その他	・受講は、前期の履修者に限る。 ・実技の授業なので、毎回の宿題が課される。（当然これも提出物の評価の対象とみなす。） ・一度欠席したら、学生自身かなりの損失を被るのでその辺を心得て望むこと。

科目名	真言密教方法論演習ⅠA
授業の到達目標及びテーマ	到達目標：唐に留学した空海がどんな教えを学び、またどのような理由・思いで帰国したのかについて理解を深めることを通して、空海（密教）を研究するための方法を身につけることを目標とする。 テーマ：『御請来目録』
授業の概要	空海の帰国報告書ともいべき『御請来目録』には、①入唐求法中の動向、②請来した經典類、③密教受法の経緯、④顯教と密教の相違について、詳細に記してある。若き日の空海の密教に関する考えを理解したい。また卒論を作成するための講義でもあるので、演習時にそれぞれのテーマに応じた指導を行なうことにする。
授業計画	1. 講義内容の説明 2. 入唐から帰国までの経緯報告① 3. 入唐から帰国までの経緯報告② 4. 入唐から帰国までの経緯報告③ 5. 入唐から帰国までの経緯報告④ 6. 關期の罪について① 7. 關期の罪について② 8. 新訳等の経について① 9. 新訳等の経について② 10. 新訳等の経について③ 11. 密教の相承について① 12. 密教の相承について② 13. 密教の相承について③ 14. 密教の相承について④ 15. 講義の総括 ※演習時には随時卒論のテーマに基づく指導を行なう。
学期	前期
後期	
単位数	2
担当	中村 本然
テキスト	『定本弘法大師全集』第一巻 高野山大学密教文化研究所
参考書・参考資料等	宮坂有勝監修『空海コレクション2』ちくま学芸文庫 金岡秀友著『密教の哲学』講談社学術文庫
学生に対する評価	出席点20%、平常点20%、試験60%とし、総合的に評価する。
その他	

科目名	真言密教方法論演習ⅡA
授業の到達目標及びテーマ	到達目標：唐に留学した空海がどんな教えを学び、またどのような理由・思いで帰国したのかについて理解を深めることを通して、空海（密教）を研究するための方法を身につけることを目標とする。 テーマ：『御請来目録』
授業の概要	空海の帰国報告書ともいべき『御請来目録』には、①入唐求法中の動向、②請来した經典類、③密教受法の経緯、④顯教と密教の相違について、詳細に記してある。若き日の空海の密教に関する考えを理解したい。また卒論を作成するための講義でもあるので、演習時にそれぞれのテーマに応じた指導を行なうことにする。
授業計画	1. 講義内容の説明 2. 請来した梵字真言讀等について 3. 請来した論疏章等について 4. 請来した仏菩薩金剛天等について 5. 請来した道具について 6. 請来した阿闍梨付囑物について 7. 密教の受法の経緯について① 8. 密教の受法の経緯について② 9. 恵果との師弟の交流について① 10. 恵果との師弟の交流について② 11. 般若三蔵の願いについて① 12. 般若三蔵の願いについて② 13. 顯教と密教について① 14. 顯教と密教について② 15. 講義の総括 ※演習時には随時卒論のテーマに基づく指導を行なう。
学期	後期
前期	
単位数	2
担当	中村 本然
テキスト	『定本弘法大師全集』第一巻 高野山大学密教文化研究所
参考書・参考資料等	宮坂有勝監修『空海コレクション2』ちくま学芸文庫 金岡秀友著『密教の哲学』講談社学術文庫
学生に対する評価	出席点20%、平常点20%、試験60%とし、総合的に評価する。
その他	

科目名	真言密教方法論演習ⅠB
	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：密教経典を解説することによって漢文読解力と卒業論文を作成するための力を養いたい。 テーマ：『宿曜經』を読む。
	授業の概要 『宿曜經』を講読することによって漢文文献を取り扱う方法論を身につけてもらいたい。あわせて、卒業論文についての個別指導を行なう。
	授業計画 1. オリエンテーション 2. 『宿曜經』講読演習 3. 『宿曜經』講読演習 4. 『宿曜經』講読演習 5. 『宿曜經』講読演習 6. 『宿曜經』講読演習 7. 卒論中間発表 8. 卒論中間発表 9. 『宿曜經』講読演習 10. 『宿曜經』講読演習 11. 『宿曜經』講読演習 12. 『宿曜經』講読演習 13. レポート、論文の書き方 14. レポート、論文の書き方 15. まとめ
	テキスト 『宿曜經』（大正21 No. 1299 担当者がコピーを配布します）
学期	前期
単位数	2
担当者	参考書・参考資料等 森田龍徳著『密教占星法』（臨川書店） 松長有慶編『密教を知るためのブックガイド』（法蔵館）
佐藤隆彦	学生に対する評価 レポート60パーセント 出席40パーセント
	その他

科目名	真言密教方法論演習ⅡB
	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：密教経典を解説することによって漢文読解力と卒業論文を作成するための力を養いたい。 テーマ：『宿曜經』を読む。
	授業の概要 『宿曜經』を講読することによって漢文文献を取り扱う方法論を身につけてもらいたい。あわせて、卒業論文についての個別指導を行なう。特に、後期には卒論作成の個別指導に力を入れたい。
	授業計画 1. オリエンテーション 2. 卒論目次の作成 3. 卒論目次の作成 4. 『宿曜經』講読演習 5. 『宿曜經』講読演習 6. 『宿曜經』講読演習 7. 卒論発表 8. 卒論発表 9. 『宿曜經』講読演習 10. 『宿曜經』講読演習 11. 『宿曜經』講読演習 12. 『宿曜經』講読演習 13. 卒論発表 14. 卒論発表 15. まとめ
	テキスト 『宿曜經』（大正21 No. 1299 担当者がコピーを配布します）
学期	後期
単位数	2
担当者	参考書・参考資料等 森田龍徳著『密教占星法』（臨川書店） 松長有慶編『密教を知るためのブックガイド』（法蔵館）
佐藤隆彦	学生に対する評価 レポート60パーセント 出席40パーセント
	その他

科目名	密教学方法論演習Ⅰ
	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：密教経典に対する理解力と分析力の養成 テーマ：『大日経』を読む、および卒業論文の作成
	授業の概要 弘法大師が平安初期に中国から日本に移植されたのは、『大日経』と『金剛頂経』の二つの経典を両部とする密教であった。大師晩年の代表的な著作『十住心論』は、悟りにいたるまでの心の転昇過程を十段階に分け、それらの十段階に儒教、道教、仏教によって教理的な説明を加えて、当時の諸思想を総合化したものである。その十住心思想の骨格を形成するための典拠となっているのが『大日経』および『大日経疏』である。本年度も『大日経』の住心品を取り上げ、とくに三句の法門を中心にして菩提心について考察する。
	授業計画 1. シラバスの説明、講義の進め方等 2. 『大日経』の原典資料と研究資料の紹介 3. 『大日経』の内容概略の説明 4. 『大日経』の本文を読む（住心品）1 5. 同上2 6. 同上3 7. 同上4 8. 同上5 9. 同上6 10. 同上7 11. 同上8 12. 同上9 13. 同上10 14. 卒業論文中間報告会 15. 卒業論文中間報告会
	テキスト 漢訳：善無畏・一行訳『大毘盧遮那成佛神変加持経』 大正18巻848番
学期	前期
単位数	2
担当者	参考書・参考資料等 福田亮成訳『大日経』（新国訳大藏経 密教部1）大蔵出版 松長有慶『密教経典解説』（現代密教講座 第二巻）大東出版社 頼富本宏著『大日経入門』大法輪閣、他
乾仁志	学生に対する評価 レポート60%、平常点40%
	その他

科目名	密教学方法論演習Ⅱ
	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：密教経典に対する理解力と分析力の養成 テーマ：『大日経』を読む、および卒業論文の作成
	授業の概要 前期に引き続き『大日経』の住心品を取り上げ、とくに三句の法門を中心にして菩提心について考察する。なお必要に応じて、『大日経』のチベット訳や漢蔵両訳の注釈とも照合しながら読み進める。
	授業計画 1. 卒業論文中間報告会 2. 卒業論文中間報告会 3. 『大日経』の本文を読む（住心品）（続き）1 4. 同上2 5. 同上3 6. 同上4 7. 同上5 8. 同上6 9. 同上7 10. 同上8 11. 同上9 12. 同上10 13. 同上11 14. 卒業論文の完成と提出 15. 卒業論文の完成と提出
	テキスト 漢訳：善無畏・一行訳『大毘盧遮那成佛神変加持経』 大正18巻848番
学期	後期
単位数	2
担当者	参考書・参考資料等 福田亮成訳『新国訳大藏経 密教部1』大蔵出版 松長有慶『密教経典解説』（現代密教講座 第二巻）大東出版社 頼富本宏著『大日経入門』大法輪閣、他
乾仁志	学生に対する評価 レポート60%、平常点40%
	その他

科目名	<b>仏教学方法論演習Ⅰ</b>	
	<b>授業の到達目標及びテーマ</b> 到達目標：仏教思想を学ぶための基礎知識と方法を習得することを目指す。 テーマ： インド・チベットの大乘仏教文献を読解し分析する。	
	<b>授業の概要</b> 仏教思想を学ぶための基礎知識として、一次文献、二次文献などの文献学に必要な概念を確認し、辞書など、研究に必要な「工具」について学び、その基礎知識を活用して、各自が実際に論文を作成してゆくための方法を習得する。そして仏教文献を読み進めながら、文献に接する態度、基本的な読み方、難解な箇所に出会った際の対処方法を身につけてゆく。出席者は、授業で扱う文献または各自が選んだテーマについて調査結果を発表することを通じて、方法論を習得する。	
	<b>授業計画</b> 1. 導入 2. 仏教を学ぶための基礎知識 (1) 3. 仏教を学ぶための基礎知識 (2) 4. インド大乘仏教文献の読解 (1) 5. インド大乘仏教文献の読解 (2) 6. インド大乘仏教文献の読解 (3) 7. インド大乘仏教文献の読解 (4) 8. インド大乘仏教文献の読解 (5) 9. インド大乘仏教文献の読解 (6) 10. インド大乘仏教文献の読解 (7) 11. インド大乘仏教文献の読解 (8) 12. インド大乘仏教文献の読解 (9) 13. 文献読解の結果を分析する (1) 13. 文献読解の結果を分析する (2) 14. 文献読解の結果を分析する (3) 15. 総括	
	学期	前期
	単位数	2
	担当者	加納和雄
	<b>テキスト</b> 授業において指示します。 松長有慶編『密教を知るためのガイドブック』法蔵館。	
	<b>参考書・参考資料等</b> 授業中の発表など30%、出席30%、テスト40%	
	<b>学生に対する評価</b> インド・チベットのことを卒業論文で扱いたい人を対象とします。	
その他		

科目名	<b>仏教学方法論演習Ⅱ</b>	
	<b>授業の到達目標及びテーマ</b> 到達目標：仏教思想を学ぶための基礎知識と方法を習得することを目指す。 テーマ： インド・チベットの大乘仏教文献を読解し分析する。	
	<b>授業の概要</b> 仏教思想を学ぶための基礎知識として、一次文献、二次文献などの文献学に必要な概念を確認し、辞書など、研究に必要な「工具」について学び、その基礎知識を活用して、各自が実際に論文を作成してゆくための方法を習得する。そして仏教文献を読み進めながら、文献に接する態度、基本的な読み方、難解な箇所に出会った際の対処方法を身につけてゆく。出席者は、授業で扱う文献または各自が選んだテーマについて調査結果を発表することを通じて、方法論を習得する。	
	<b>授業計画</b> 1. 導入 2. 仏教を学ぶための基礎知識 (1) 3. 仏教を学ぶための基礎知識 (2) 4. インド大乘仏教文献の読解 (1) 5. インド大乘仏教文献の読解 (2) 6. インド大乘仏教文献の読解 (3) 7. インド大乘仏教文献の読解 (4) 8. インド大乘仏教文献の読解 (5) 9. インド大乘仏教文献の読解 (6) 10. インド大乘仏教文献の読解 (7) 11. インド大乘仏教文献の読解 (8) 12. インド大乘仏教文献の読解 (9) 13. 文献読解の結果を分析する (1) 13. 文献読解の結果を分析する (2) 14. 文献読解の結果を分析する (3) 15. 総括	
	学期	後期
	単位数	2
	担当者	加納和雄
	<b>テキスト</b> 授業において指示します。	
	<b>参考書・参考資料等</b> 高野山大学仏教学科編『卒業論文の手引き』。 松長有慶編『密教を知るためのガイドブック』法蔵館。	
	<b>学生に対する評価</b> 授業中の発表など30%、出席30%、テスト40%	
その他 インド・チベットのことを卒業論文で扱いたい人を対象とします。		

科目名	<b>日本文化方法論演習Ⅰ</b>	
	<b>授業の到達目標及びテーマ</b> 到達目標：卒業論文を書く テーマ：卒業論文を書く上での様々な方法を学ぶ	
	<b>授業の概要</b> 日本文化(おもに文学)の様々な領域の作品を読み、深く鑑賞する。そのなかで自己の意見(評価)を述べるということ、先行文献の蒐集とその読解、また先行文献の方法(論の展開)を学ぶ、自己の意見を文章化すること、などを具体的に学ぶ。パソコンで文章を作成する方法	
	<b>授業計画</b> 1. ガイダンス シラバスの説明、論文とはどのようなものか。 2. テーマの見つけ方 3. 和歌の鑑賞 西行 4. 同上(具多的な先行文献を図書館で探し、複写する) 5. 同上(当該和歌の鑑賞文を作成する) 6. 仏教説話の鑑賞 日本霊異記 7. 同上(具多的な先行文献を図書館で探し、複写する) 8. 同上(当該説話の鑑賞文を作成する) 9. 道歌—御詠歌の鑑賞—(西国33ヶ所御詠歌) 10. 同上(具多的な先行文献を図書館で探し、複写する) 11. 同上(当該御詠歌の鑑賞文を作成する) 12. 物語の鑑賞 平家物語 13. 同上(具多的な先行文献を図書館で探し、複写する) 14. 同上(当該物語の鑑賞文を作成する) 15. 総括	
	学期	前期
	単位数	2
	担当者	下西忠
	<b>テキスト</b> 教員が用意する。	
	<b>参考書・参考資料等</b> 講義の中で指摘。	
	<b>学生に対する評価</b> 出席30%、数編の鑑賞文(70%)	
その他		

科目名	<b>日本文化方法論演習Ⅱ</b>	
	<b>授業の到達目標及びテーマ</b> 到達目標：卒業論文を書く テーマ：卒業論文を書く上での様々な方法を学ぶ	
	<b>授業の概要</b> 日本文化(おもに文学)の様々な領域の作品を読み、深く鑑賞する。そのなかで自己の意見(評価)を述べるということ、先行文献の蒐集とその読解、また先行文献の方法(論の展開)を学ぶ、自己の意見を文章化すること、などを具体的に学ぶ。パソコンで文章を作成する方法 後期は卒業論文の具体的な指導が中心。	
	<b>授業計画</b> 1. 受講者の論題についての討議(1)進捗状況を話し合う。 2. 同上(2) 3. 卒論指導(1)個別指導・構成 4. 卒論指導(2)同上 5. 卒論指導(3)同上 6. 卒論の中間発表(1) 7. 卒論の中間発表(2) 8. 卒論の中間発表(3) 9. 卒論指導(4)個別指導 10. 卒論指導(5)個別指導 11. 卒論指導(6)個別指導 12. 推敲の方法 13. 構成と論文内容の点検 14. 卒論の意義と今後の課題 15. 総括	
	学期	後期
	単位数	2
	担当者	下西忠
	<b>テキスト</b> 教員が用意する。	
	<b>参考書・参考資料等</b> 講義の中で指摘。	
	<b>学生に対する評価</b> 出席30%、数編の鑑賞文(70%)	
その他 後期は個別指導が主であるが、他の受講生は毎週講義に出席し、資料収集など具体的な作業し、その報告を講義終了時に必ずすること。		

科目名 条幅制作Ⅰ〔漢字〕	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： テーマ：漢字Ⅰ・漢字Ⅱ・かなⅠ・かなⅡ・臨書を通して得た技術で、漢字、仮名、近代詩文などの作品を制作する。	
	授業の概要 ○半切に漢字4～6文字の言葉を楷書体、行書体で創作する。(倣書も可) ○半切(正方形)に漢詩、漢語を篆書体又は隷書体で創作する。(倣書も可) ○半切に漢字・仮名まじり文を創作する。課題は授業前に提示。	
	授業計画 1. この授業の内容、授業の進め方、この授業に必要な書道用材(筆・画用紙・字書類)の説明をする。 2. } 3. } 4. } 楷書体と行書体で創作する。提出後、全体で互評会を実施 5. } 6. } 7. } 8. } 9. } 10. } 11. } 篆書体又は隷書体で創作。又は漢字仮名まじり文の創作。 12. } どれかひとつを選び実習する。 13. } 14. } 15. }	
	学期	
	前期	
	単位数	
	1	
	担当者	
	木本滋久	
	テキスト 特に無し。	
参考書・参考資料等 字書；「書源」、「角川書道大字典」、二玄社の法帖類		
学生に対する評価 提出作品、出席回数、授業の取り組みを総合的に評価する。		
その他 各自で事前に『字書』を購入しておくこと。 画仙紙は事前に大阪の書道用品店で買っておくこと。		

科目名 条幅制作Ⅱ〔漢字〕	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：金剛峯寺・高野山大学書道師範取得や、卒業制作に値する作品の制作。 テーマ：臨書でつちかった基礎の上に立って、個性豊かでフレッシュな作品を創作する。	
	授業の概要 2尺×8尺(52cm×約228cm)の画仙紙に自分で詩や文章を選び創作する。 小画仙紙全紙に近代詩文や現代文を創作する。 漢字と仮名の調和をよく考えて、題材は受講生が自作又は他から選んでもよい(6時間)。 提出後、全体で互評会を実施。	
	授業計画 1. } 2. } 3. } 4. } 2尺×8尺(たて228cm×よこ52cm)の紙面に、書体、題材も自由で受講生が個性と創作意欲にあふれた作品を制作。 5. } 6. } 7. } 題材、書体は途中変更も可能であるから、試行錯誤をくりかえしながら少しずつ作品が向上する。書き込みより他に道はないと思ひ、時間外でもしっかり取り組んで欲しい。 8. } 9. } 早く仕上がった人は、書体を変えたり、題材を変えたり(漢字仮名まじり文でも可)して小品を制作したらいい。 10. } 11. } 12. } 13. } 14. } 落款印を押して授業の終わりに提出。 15. } 提出した作品の鑑賞会実施。	
	学期	
	後期	
	単位数	
	1	
	担当者	
	木本滋久	
	テキスト 特に無し。	
参考書・参考資料等 字書や二玄社の法帖類、各展覧会の作品集等。		
学生に対する評価 提出作品、出席回数、授業の取り組みを総合的に評価する。		
その他 2尺×8尺の作品は評価の後、2月の高野山大学学外書道展に出品していただきます。表装代は各自の負担とします。		

科目名 条幅制作Ⅰ〔かな〕	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：古来より机上作品であった「かな」を条幅作品として表現する方法を身につける。 テーマ：古書の拡大臨書をもとに細字作品を条幅作品として仕上げるために何が必要かを知り、創作していく。	
	授業の概要 古筆の拡大臨書から条幅作品として個性的な表現を加えていく。 条幅に表現することは筆者の人間性の深さ・生命感情の躍動の強さを「かな」を用いて充分に表現することである。そのため大きく影響する用具用材についての知識も必要である。	
	授業計画 1. 条幅「かな」の解説・用具・用材等の説明。 2. 既成作品を鑑賞し、全体像を知る。 3. } 4. } 高野切第三種から一首えらび、たて135cm×横35cmの紙に拡大臨書をする。条幅として仕上げるために何が必要かを添削を通して身につける。 5. } 6. } 7. } 8. } 9. } 10. } 11. } たて135cm×横35cmの紙に創作する。 12. } 各自歌一首を選び、個性豊かな作品に仕上げる。 13. } 適宜添削する。 14. } 15. }	
	学期	
	前期	
	単位数	
	1	
	担当者	
	山本圭子	
	テキスト 特になし	
参考書・参考資料等 古筆全般 既成作品 かな字典		
学生に対する評価 拡大作品・創作作品を中心に。とりくむ姿勢、出席を加味して評価する。3分の1以上欠席者は評価しません。		
その他 ・漢字Ⅰ、かなⅠを受講済みであること。 ・全授業出席する気持ちは大事。実習しなければ身につけません。 ・知識として知るだけでは自己表現できないことをよく知ってほしい。見習いというように見る力をつけることも重要です。		

科目名 条幅制作Ⅱ〔かな〕	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：数種の大きさの紙に自分の感動をより豊かに表現すること。 テーマ：かなの美を条幅作品に表現する。自分の選んだ題材を自分の感情により的確に表現していくため、その内容にふさわしい自己の線質等を追求していく。	
	授業の概要 現代性を表現するため、現代詩などを題材として制作する。 また古歌・古詩等であって現代に生きる作品としていくために何が必要かを追求していく。	
	授業計画 1. } 2. } 75cm×75cmの紙に漢字かなまじり文を寸松庵色紙等を参考に 3. } に散らしの方法を加えて制作する。 4. } 既成作品等を参考に、適宜添削、指導をする。 5. } 6. } 7. } できあがった作品の互評会を行い、作品造りの参考にする。 8. } 9. } 10. } 228cm×52cmの紙をたて・横自由に使い、スケールの大きな個性豊かな作品を仕上げていく。 11. } 「かな」であることをいつも意識下におき、制作する。 12. } 13. } 互評会を行う。 14. } 15. }	
	学期	
	後期	
	単位数	
	1	
	担当者	
	山本圭子	
	テキスト 特になし	
参考書・参考資料等 三色紙 かな字典		
学生に対する評価 かな作品としての特徴を活かしているかを中心に評価する。 全時間出席して、技法を身につけようとしているかの努力、姿勢を重視する。 3分の1以上欠席者は評価しません。		
その他 ・受講者は、漢字Ⅰ、かなⅠ、条幅制作Ⅰ〔かな〕を受講済みであること。 ・初めてのかな条幅となると思うので、挑戦する気持ちと、初めてのことをよく知ろうとする謙虚さが必要です。		

科目名	<b>授業の到達目標及びテーマ</b> 到達目標：現場でスピリチュアルケアを実践するときに知っておくべき基礎的な諸理論と、それを支える仏教の瞑想的智慧について、知性と感性のバランスをとりながら学ぶ。 テーマ：実践と理論をつなぐための学び
スピリチュアルケア理論	
学期	
後期	
単位数	
2	
担当者	
井上ウイマラ	
	<b>授業の概要</b> スピリチュアルケアの歴史的背景と仏教が内包しているスピリチュアルなケアの可能性を検討し、人生の意味や価値にまつわる死生観などを概観しながら、理論と実践をつなぐための小レッスンを交えて授業を進める。
	<b>授業計画</b> 1. 自己紹介と授業の流れについて 2. ホスピス運動の歴史的背景と本質 3. 仏教における瞑想的実践としての看護活動 4. 悟り対象喪失理論 5. 悲しむ力と育む力 6. 精神的健康の基盤としての愛着理論 7. ライフサイクル理論 8. 自己実現と欲求の5段階説 9. 四摂法とケアについて 10. 人生で大切な5つのテーマ 11. 仏教における心の分析 12. 移行対象と祈りの力 13. 中道：アンビバレンスを見守る器 14. 解脱と俯瞰的視点としてのスピリチュアリティ 15. ふりかえりとまとめ
	<b>テキスト</b> 『スピリチュアルケアへのガイド』 窪寺俊之・井上ウイマラ 『呼吸による気づきの教え』 井上ウイマラ 佼成出版社
	<b>参考書・参考資料等</b> そのつど必要に応じて提示する。
	<b>学生に対する評価</b> 出席と参加態度(30%)、期末試験あるいはレポート(70%)によって評価する。
	その他

科目名	<b>授業の到達目標及びテーマ</b> 到達目標：心理学研究における統計解析の基礎手法と意味を理解する テーマ：
心理統計学入門	
学期	
前期	
単位数	
2	
担当者	
坂田真穂	
	<b>授業の概要</b> 心理学研究におけるデータの扱い方や必要となる統計的手法について理解する。また、実際の問題に取り組んだり、電卓やパソコンを用いた計算演習を行う。
	<b>授業計画</b> 1. オリエンテーション(統計とは何か、なぜ必要か) 2. 変数とデータ 3. Σ記号の意味 4. 度数分布 5. 量的変数における度数分布の表し方 6. 質的変数における度数分布の表し方 7. 量的変数に関するデータの数値要約 8. 質的変数に関するデータの数値要約 9. 相関図の作成 10. 相関係数による数値要約 11. 一方の変数の値によって分けた群間での他方の変数の代表地の比較 12. クロス表の作成 13. 連関係数による数値要約 14. 線形変換 15. 非線形変換
	<b>テキスト</b> 吉田寿夫『本当にわかりやすくすぐ大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本』北大路書房 松田文子・三宅幹子・橋本優花里 『わかって楽しい心理統計法入門』北大路書房
	<b>参考書・参考資料等</b>
	<b>学生に対する評価</b> 出席、演習作業、定期テスト
	その他

科目名	<b>授業の到達目標及びテーマ</b> 到達目標： テーマ：心理学研究における統計解析の手法と実際を学ぶ
心理統計学	
学期	
後期	
単位数	
2	
担当者	
坂田真穂	
	<b>授業の概要</b> 心理学研究でよく使用される統計方法について理解する。また、電卓やパソコンを用いた演習を行い、実際の研究における使い方も学習する。
	<b>授業計画</b> 1. 記述統計と推測統計 2. 無作為標本抽出 3. 推測統計の分類 4. 統計的検定の意義 5. 統計的検定の基本的考え方 6. 統計的検定に関する基本用語と統計的検定の一般的手続き 7. 検定の基本用語 8. 適切な検定を選択する際の主な観点 9. 対応のない場合のt検定 10. 対応のある場合のt検定 11. U検定 12. 対応のない1要因の分散分析 13. 2重クロス表についての $\chi^2$ 検定 14. ともに対応のない2要因の分散分析 15. ピアソンの相関検定の有意性検定
	<b>テキスト</b> 吉田寿夫『本当にわかりやすくすぐ大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本』北大路書房 松田文子・三宅幹子・橋本優花里 『わかって楽しい心理統計法入門』北大路書房
	<b>参考書・参考資料等</b>
	<b>学生に対する評価</b> 出席、演習作業、定期テスト
	その他 本講義は、「心理統計学入門」を受講し、統計的方法の基礎的知識を持っていることを前提にしています。

科目名	<b>授業の到達目標及びテーマ</b> 到達目標：日本文化の根底にあるいのちへのまなごしを通して、他者の痛みに共感する文化を理解する。 テーマ：いのちについて考える。
スピリチュアルケア基礎	
学期	
前期	
単位数	
2	
担当者	
生井智紹	
	<b>授業の概要</b> 日本文化に見られるいのちをめぐる表象、現代科学の生命論を通して、それぞれの間観、生死観を形成するスピリチュアリティに気づく。知識の習得というよりは、気づくという点を大切に。
	<b>授業計画</b> 序. いのちをみまもる 序. 1. 生命といのち 序. 2. いのちへのまなごしと生死観 I. 生老病死 I. 1. こどもは授かりもの I. 2. 老いはとうとい I. 3. 病の今昔 I. 4. 死の周辺 II. 苦へのまなごし II. 1. 障害？ II. 2. 病うことと看ること II. 3. あの世とこの世 III. 健やかさへのいのち III. 1. 自然と自然であること III. 2. いのち、いやし、いのち
	<b>テキスト</b> 必要に応じてプリント資料配布
	<b>参考書・参考資料等</b> 立川昭二『いのちの文化史』新潮選書 2000年
	<b>学生に対する評価</b> 各講時における発表と論議への参加態度を50%、定期試験の成果を50%とし、合計60/100をもって合格とする。
	その他

科目名 スピリチュアルケア援助論Ⅰ	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：自分自身を知る能力を育むために、仏教のウィパッサナー（観）瞑想を基本とした自覚の保ち方を学ぶ。 テーマ：自分を知ること学ぶ。
	授業の概要 授業の最初にみんなの息を合わせるために「三宝帰依の歌」を歌い、「呼吸による気づき経」を読誦し、15分ほど呼吸瞑想をする。その後で、さまざまな瞑想的エクササイズを行い、ふりかえりと話し合いを通して体験学習を深める。
	授業計画 1. 自己紹介と授業の進め方について 2. スピリチュアルケアとは何か？ 3. 如実知見と如実知自心（自分を知ることの大切さ） 4. 受（vedanā）を探る：身体感覚に心を開く 5. 「出入息経」から学ぶ 6. 呼吸に触れる 7. 呼吸のモニタリング 8. 中間のふりかえり 9. 想（saññā）と行（saṅkhāra）を探る 10. 身体（kāya）のサインを読み取る 11. マインドフルネス瞑想の系譜 12. 慈悲喜捨に学ぶ 13. 息づかいのメッセージ 14. 4つの滋養（āhāra）に学ぶ 15. ふりかえりとまとめ
	テキスト 『看護と生老病死』 井上ウイマラ 三輪書店
	参考書・参考資料等 『スピリチュアルケアへのガイド』 窪寺俊之・井上ウイマラ 青海社 『人生で大切な5つの仕事』 井上ウイマラ 春秋社
	学生に対する評価 出席と参加態度（50%）、期末レポート（50%）で評価します。  その他 できるだけ動きやすい服装で参加してください。
学期	前期
単位数	2
担当者	井上ウイマラ

科目名 スピリチュアルケア援助論Ⅱ	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：他者との関係性の中で浮かび上がってくる自分のパターンに気づき、より自然体なコミュニケーションの可能性を探る。共感と傾聴の基本を身につける。 テーマ：関係性とコミュニケーションスキルに関する自覚を養う。
	授業の概要 最初にみんなの息を合わせるために「慈しみの歌」を歌い、「気づきの確立経」を読誦し、10分ほど呼吸瞑想をする。その後で、瞑想的エクササイズやロール・プレイなどを行い、ふりかえりと話し合いによって体験学習を深める。
	授業計画 1. 自己紹介と授業の進め方について。 2. 四摂法から学ぶ（人間存在とケア） 3. ミラーリング（ミラーニューロンについて） 4. ミラーリングその2 5. 5分間トーク（sammajānaを身につける） 6. レーズンの祈り（唯識から学ぶ） 7. 中間のふりかえり 8. 他己紹介 9. ミニカウンセリング 10. ミニカウンセリング：会話録 11. ミニカウンセリング：よいカウンセラーに必要なもの 12. 接触（phassa）を探る 13. 慈しみ（mettā）とケア 14. 最期の一息の看取り 15. ふりかえりとまとめ
	テキスト 『看護と生老病死』 井上ウイマラ 三輪書店
	参考書・参考資料等 『ブッダのサイコセラピー』 M.エプスタイン 春秋社 『人間関係性トレーニング』 ナカニシヤ書店
	学生に対する評価 出席と参加態度（50%）、期末レポート（50%）で評価する。  その他 動きやすい服装で参加してください。ミニカウンセリングでは、テーブルコーダーなどの録音機器が必要ですので準備しておいてください。
学期	後期
単位数	2
担当者	井上ウイマラ

科目名 心理学Ⅰ (別)	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：心理学の基本的な知識を習得する。 テーマ：自我心理学、発達心理学を中心に心理学を理解する。
	授業の概要 この授業では、心理学全般について紹介する。自我心理学や発達心理学を中心に、人間の心の成長を考える。人間存在の実相を概観し、心のしくみとその成長のプロセスを理解する。
	授業計画 1. オリエンテーション、授業計画の説明、心理学の歴史とその全体的な枠組みの紹介。 2. 実験心理学、発達心理学、社会心理学、臨床心理学など、心理学の多様性とその関連性。 3. フロイトの思想とその人生について。 4. フロイトの考えた意識・無意識の理論、リビドーという概念について。 5. 心的外傷理論、エディプスコンプレックスなど、フロイト由来の様々な概念について。 6. ユング心理学の紹介、アニマ、タナトス等、ユング心理学の獨創性。 7. エリクソンの自我心理学、エリクソンの人生と研究との関連性。 8. エリクソンのライフサイクル論について（その1）、乳児期、幼児期初期、児童期。 9. エリクソンのライフサイクル論について（その2）、青年期、アイデンティティ考察。 10. エリクソンのライフサイクル論について（その3）、成年期、老年期。 11. ピアジェの子ども発達理論の紹介。 12. プルナーの発達論の紹介。 13. コールバーグの道徳性心理学の紹介。自尊感情、正義、倫理観の発達。 14. ノディングスの「ケアリング」論、「善い」と「正しい」の関連性。 15. まとめ。授業を振り返り、疑問点等、復習する。
	テキスト 特に指定しない。授業の中で適宜、プリントを配布する。
	参考書・参考資料等 『フロイト思想のキーワード』 小此木啓吾著、講談社現代新書 『エリクソンの人間学』 西平直著、東京大学出版会 『アイデンティティ研究の展望 1』 ナカニシヤ書店 『アイデンティティとライフサイクル論』 鐘幹八郎著、ナカニシヤ書店
	学生に対する評価 平常点を重視する。小レポートを1回、宿題として出す（評価に加える）。  その他 毎回、出席をとる。積極的な取り組み、特に復習に力を入れてほしい。
学期	前期
単位数	2
担当者	戸來知子

科目名 心理学Ⅱ (別)	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：心理学とは、どのような学問かを理解し、その基本的な知識を習得する。 テーマ：臨床心理学やカウンセリングの分野を中心に学習する。
	授業の概要 前期の心理学Ⅰ、とはなるべく違う分野の心理学を取り上げる。臨床心理学やカウンセリングの基礎となっている心理学を学習する。また、人間の心の概念の他、性格や人格についても学習する。
	授業計画 1. オリエンテーション。授業の進め方、授業計画。心理学の歴史と、その全体像。 2. 様々な心理学の紹介。現在の臨床心理学の成り立ちについて。 3. 人間の心についての理解。フロイトやユングの心の概念。 4. ライフサイクル論について（エリクソン、レヴィンソン等）。 5. マズローの自己実現の理論。 6. ロジャースのカウンセリング理論（その1）、ロジャースの理論の基礎。 7. ロジャースのカウンセリング理論（その2）、クライアント中心療法。 8. マズローの自己実現の理論の概要。 9. アドラー心理学の基礎理論の紹介。 10. アイゼンクの性格類型論、リコーナの性格の理論について 11. オールポートの人格心理学の紹介。 12. 様々な心理療法について。認知行動療法。内観法。自由連想法等。 13. パーソナリティーの障害について。 14. 境界性人格障害について理解を深める。 15. まとめ。疑問点の再確認等。
	テキスト 特に指定しない。授業の中で適宜、プリントを配布する。
	参考書・参考資料等 『フロイト思想のキーワード』 小此木啓吾著、講談社現代新書 『アイデンティティ研究の展望 1』 ナカニシヤ書店
	学生に対する評価 平常点を重視する。小レポートを1回、宿題として出す（評価に加える）。  その他 毎回、出席をとる。積極的な取り組み、特に復習に力を入れてほしい。
学期	後期
単位数	2
担当者	戸來知子



科目名	<b>スピリチュアルケア概論Ⅰ</b> <b>スピリチュアルケア概論Ⅰ</b>
学期	前期
単位数	2
担当者	前谷彰
学生に対する評価	出席率と授業に対する熱心さと学期末のレポートで総合的に判断する。
その他	
授業の到達目標及びテーマ	到達目標：スピリチュアルケアとはいったい何であるかについての基本的知識を身につける。 テーマ：現代社会にスピリチュアルケアは必要か？
授業の概要	近年、スピリチュアルケアは一種の時代的ブームを起していると言っても過言ではないが、そのスピリチュアルケアとはいったい何をどのようにすることなのかについて考察することによって、現代社会がスピリチュアルケアなるものを必要としているとすれば、いったいどのような形でどのような意味でそれを必要としているかについて考えて行きます。
授業計画	1. オリエンテーション 2. スピリチュアルケアの意味について考察する。 3. 現在行われているスピリチュアルケアの現状について紹介する。 4. 現在行われているスピリチュアルケアの方法論の主たるものを紹介する。 5. 現代社会がなぜスピリチュアルケアを必要としているのかについて考える。 6. スピリチュアルケアの問題点について考える。 7. 同上 8. 現代社会に現行のスピリチュアルケアが必要であるか否かについてディスカッションする。 9. 同上 10. 将来的にどのようなスピリチュアルケアが望ましいかについて考える。 11. 同上 12. 仏教の考え方と将来的なスピリチュアルケアとの融合について考える。 13. 同上 14. 同上 15. 総まとめ
テキスト	前谷彰(恵紹)「スピリチュアルケアの将来の展望」『高野山大学論叢』第44巻(コピー)
参考書・参考資料等	窪寺俊之「スピリチュアルケア学序説」 前谷彰(恵紹)編『仏教要論』等。

科目名	<b>スピリチュアルケア概論Ⅱ</b> <b>スピリチュアルケア概論Ⅱ</b>
学期	後期
単位数	2
担当者	生井智紹
学生に対する評価	各講時への参加態度50% 期末試験50%とし計100点満点中60点以上を合格とする。
その他	Power Pointによるプレゼンテーションを中心に授業を進める予定である。
授業の到達目標及びテーマ	到達目標：スピリチュアリティという概念の周辺とケアの方法を探る。 テーマ：スピリチュアルケアの理念と現状。
授業の概要	スピリチュアルケアの理論と実践を考える場合、その背景となる文化を理解しておく必要がある。 まずそれを捉えたうえで、スピリチュアルケアの実際が各関連領域でどのように問題化されているかを概観しながら、各々の領域でのケアのあるべき姿を検討してみたい。
授業計画	序. スピリチュアルケアの理念と現状 序-1. スピリチュアルケアへの関心と現状 序-2. いのちをみまもる I. 生命科学と医療の現場 - 生命観と終末医療の問題 - II. 死生観と文化 - いのちの多様性 - III. いのちの教育 - いのちと価値観 - IV. 現代社会におけるいのち - 傷つけあうストレス社会におけるいのちたち - V. 人類の教師たち - いのちへの洞察 - VI. 生かせいのち - 「いまここ」のいのちへの関与のありよう -
テキスト	島園進、『スピリチュアリティの興隆』岩波書店 2007他 生協あつかい
参考書・参考資料等	随時関連分野の注目すべき資料を提示する。

科目名	<b>臨床心理学基礎実験A-1</b> <b>臨床心理学基礎実験A-1</b>
学期	前期
単位数	1
担当者	坂田真穂
学生に対する評価	出席・受講態度・レポート
その他	実験の授業は一旦始まると時間的な融通を利かせられないところがあるので、できるだけ遅刻欠席をしないようにしてください。
授業の到達目標及びテーマ	心理学における基本的な実験方法とデータの分析方法、レポートの作成方法の学習
授業の概要	各講義時間に提示される実験課題について、グループ毎に実験計画に従って実験実施し、データを収集する。講義時間内に十分なデータを収集できないときには、講義時間外にも実験を行い、データを収集する。また、各実験についてのレポートを提出すること。
授業計画	1. オリエンテーションと心理学実験について 2. 錯視について 3. 実験1：ミューラー・リヤー錯視 4. 主観的知覚と色について 5. 実験2：色の見かけ上の重さを量る 6. 大きさの恒常性について 7. 実験3：大きさの恒常性 8. 閾値とサブリミナル効果について 9. 実験4：2点閾の測定 10. 記憶と忘却について 11. 実験5：忘却曲線を描く 12. 認知とイメージについて 13. 測定1：イメージを測定する 14. 学習について 15. 実験6：学習の転移(鏡映描写)
テキスト	宮原英種・宮原和子『心理学実験を愉しむ-心理学の「日常性」と「科学性」』ナカニシヤ出版
参考書・参考資料等	フィンドレイ『心理学実験研究レポートの書き方』北大路書房

科目名	<b>臨床心理学基礎実験A-2</b> <b>臨床心理学基礎実験A-2</b>
学期	後期
単位数	1
担当者	坂田真穂
学生に対する評価	出席・受講態度・レポート
その他	「臨床心理学基礎実験A-1」を受講していることが望ましい。また、本講義は基礎的な心理学の知識をもとに実験を行うので、予め心理学の概論書を読み予習しておくことをお勧めします。
授業の到達目標及びテーマ	心理学研究における基礎的な質問紙法の作成方法、データの分析方法とレポートの作成方法の学習
授業の概要	心理学論文の構成とその基礎を学習する。量的研究と質的研究の方法やまとめ方、また参考文献の選定から読み方、引用の方法について講義する。授業では実際のワークや調査を実践し、課題としてレポートにまとめる作業も行う。
授業計画	1. オリエンテーションと心理学実験(研究)について 2. 基礎的な心理学研究法について 3. 心理学論文の構成の基本 4. 先行研究の調べ方・読み方 5. 問題と目的 6. 方法 7. 結果 8. 考察 9. 量的研究 10. 質的研究 11. S D法の実習(1) 12. S D法の実習(2) 13. S D法の実習(3) 14. 英語論文の構成-読み方と書き方(1) 15. 英語論文の構成-読み方と書き方(2)
テキスト	宮原英種・宮原和子『心理学実験を愉しむ-心理学の「日常性」と「科学性」』ナカニシヤ出版 フィンドレイ『心理学実験研究レポートの書き方』北大路書房
参考書・参考資料等	

科目名	<b>授業の到達目標及びテーマ</b> 到達目標：心理学の基礎的な実験実習をし、分析方法やレポート作成方法を学ぶ。 テーマ：実験実習からレポートの作成までの学習
臨床心理学基礎実験 B-1	
学期	
前期	
単位数	1
担当者	森崎雅好
授業の概要	<b>授業の概要</b> 学習・記憶・情意・行動分野の実験実習を行い、データの分析方法とレポート作成方法を学習する。実習課題は、実習生全員で行い、各自データの分析とレポート作成を行う。
授業計画	<b>授業計画</b> 1. 【刺激汎化】 目的と方法 2. 【刺激汎化】 実験 3. 【刺激汎化】 結果の整理 4. 【概念識別】 目的と方法 5. 【概念識別】 実験 6. 【概念識別】 結果の整理 7. 【要求水準】 目的と方法 8. 【要求水準】 実験 9. 【要求水準】 結果の整理 10. 【一対比較による好悪の尺度化】 目的と方法 11. 【一対比較による好悪の尺度化】 実験 12. 【一対比較による好悪の尺度化】 結果の整理 13. 【認知能力の発達】 - 幼児の類概念 - 目的と方法 14. 【認知能力の発達】 - 幼児の類概念 - 実験 15. 【認知能力の発達】 - 幼児の類概念 - 結果の整理
テキスト	<b>テキスト</b> 心理学実験指導研究会編「実験とテスト：心理学の基礎-実習編-」(培風館 1985年)
参考書・参考資料等	<b>参考書・参考資料等</b> 適時、紹介する。
学生に対する評価	<b>学生に対する評価</b> 課題ごとにレポートを作成し、レポート内容で評価する。
その他	<b>その他</b> グループ毎に課題をこなしますので、欠席・遅刻は厳禁です。レポート作成時には、文献を読みこんでください。

科目名	<b>授業の到達目標及びテーマ</b> 到達目標：観察法と基本的な心理検査の実験実習を行い、分析法とレポートの作成方法を学ぶ。 テーマ：実験実習からレポートの作成までの学習
臨床心理学基礎実験 B-2	
学期	
後期	
単位数	1
担当者	森崎雅好
授業の概要	<b>授業の概要</b> 観察法と基本的な心理検査の法の実験実習を行い、分析法とレポートの作成方法を学習する。実習課題は、実習生全員で行い、各自データの分析とレポート作成を行う。
授業計画	<b>授業計画</b> 1. 【観察法】 目的と方法 2. 【観察法】 実験 3. 【観察法】 結果の整理 4. 心理検査の理論 5. 心理検査の信頼性と妥当性 6. 【インテーク】 目的と方法 7. 【インテーク】 実習 8. 【知能テスト (WISC-III)】 目的と方法 9. 【知能テスト (WISC-III)】 実習 10. 【知能テスト (WISC-III)】 結果の整理 11. 【発達テスト (新版K式発達検査)】 目的と方法 12. 【発達テスト (新版K式発達検査)】 実習 13. 【発達テスト (新版K式発達検査)】 結果の整理 14. 【人格検査 (P-Fスタディ)】 目的と方法及び実習 15. 【人格検査 (P-Fスタディ)】 結果の整理
テキスト	<b>テキスト</b> 橋本泰子・大木桃代編著『臨床現場のための心理検査入門』(オーエムエス出版 1999年) 中澤潤他『心理学マニュアル 観察法』(北大路書房 1997年)
参考書・参考資料等	<b>参考書・参考資料等</b> 適時、紹介する。
学生に対する評価	<b>学生に対する評価</b> 課題ごとにレポートを作成し、レポート内容で評価する。
その他	<b>その他</b> グループ毎に課題をこなしますので、欠席・遅刻は厳禁です。レポート作成時には、文献を読みこんでください。

科目名	<b>授業の到達目標及びテーマ</b> 到達目標：我が国の高齢者福祉政策について学生が十分に理解することを到達目標とする。 テーマ：我が国の高齢者の現状と社会福祉政策の実態
老人福祉各論 I (高齢者福祉)	
学期	
前期	
単位数	2
担当者	齋藤尚子
授業の概要	<b>授業の概要</b> 我が国の高齢者福祉に関する社会福祉政策がどのように進展してきたかを概観する。 さらに、現在の高齢者を取り巻く社会の実態を理解し、諸外国(イギリス・オランダ・ドイツ)の取り組みとの比較を行う。
授業計画	<b>授業計画</b> 1. オリエンテーション 授業内容の解説と自己紹介 2. 高齢者の特性 3. 高齢者の身体・精神的特性と疾病 4. 高齢者の心理特性・高齢者の社会的特性 5. 高齢者を取り巻く環境 6. 少子高齢者社会と社会問題 7. 家族介護の問題 8. 高齢者・家族の抱える諸問題 9. 老年期の生活困難の特性 10. 高齢者保健福祉の発展と現行制度の体系 11. 近・現代における我が国の高齢者福祉及び関連制度 12. 高齢者に関する法及び関連諸施策 13. 老人福祉法・老人保健法 14. 介護保険法 15. 期末試験
テキスト	<b>テキスト</b> 齋藤尚子著『終末期の保健福祉』信山社 2008.9.20発行 新・社会福祉士養成講座『高齢者に対する支援と介護保険制度』中央法規
参考書・参考資料等	<b>参考書・参考資料等</b> 『現代福祉学レキシコン第二版』雄山閣出版 『社会福祉法制要説』有斐閣
学生に対する評価	<b>学生に対する評価</b> 出席状況30% (毎回出席を取る)、レポート40%、期末試験30%で評価する。
その他	<b>その他</b> 高齢者福祉は政治や経済などと大きく関連しているので、社会の動きに関心を持つこと。

科目名	<b>授業の到達目標及びテーマ</b> 到達目標：我が国の高齢者福祉政策について学生が十分に議論できることを到達目標とする。 テーマ：我が国の高齢者の現状と社会福祉政策の実態
老人福祉各論 II (高齢者福祉)	
学期	
後期	
単位数	2
担当者	齋藤尚子
授業の概要	<b>授業の概要</b> 我が国の高齢者福祉に関する社会福祉政策について議論を行う。 さらに、現在の高齢者を取り巻く社会の実態を理解し、諸外国(イギリス・オランダ・ドイツ)の取り組みとの比較・検討を行う。
授業計画	<b>授業計画</b> 1. オリエンテーション 授業内容の解説と自己紹介 2. 高齢者の特性 3. 高齢者の身体・精神的特性と疾病 4. 高齢者の心理特性・高齢者の社会的特性 5. 高齢者を取り巻く環境 6. 少子高齢者社会と社会問題 7. 家族介護の問題 8. 高齢者・家族の抱える諸問題 9. 老年期の生活困難の特性 10. 高齢者保健福祉の発展と現行制度の体系 11. 近・現代における我が国の高齢者福祉及び関連制度 12. 高齢者に関する法及び関連諸施策 13. 老人福祉法・老人保健法 14. 介護保険法 15. 期末試験
テキスト	<b>テキスト</b> 齋藤尚子著『終末期の保健福祉』信山社 2008.9.20発行 新・社会福祉士養成講座『高齢者に対する支援と介護保険制度』中央法規
参考書・参考資料等	<b>参考書・参考資料等</b> 『現代福祉学レキシコン第二版』雄山閣出版 『社会福祉法制要説』有斐閣
学生に対する評価	<b>学生に対する評価</b> 出席状況30% (毎回出席を取る)、レポート40%、期末試験30%で評価する。
その他	<b>その他</b> 高齢者福祉は政治や経済などと大きく関連しているので、社会の動きに関心を持つこと。